



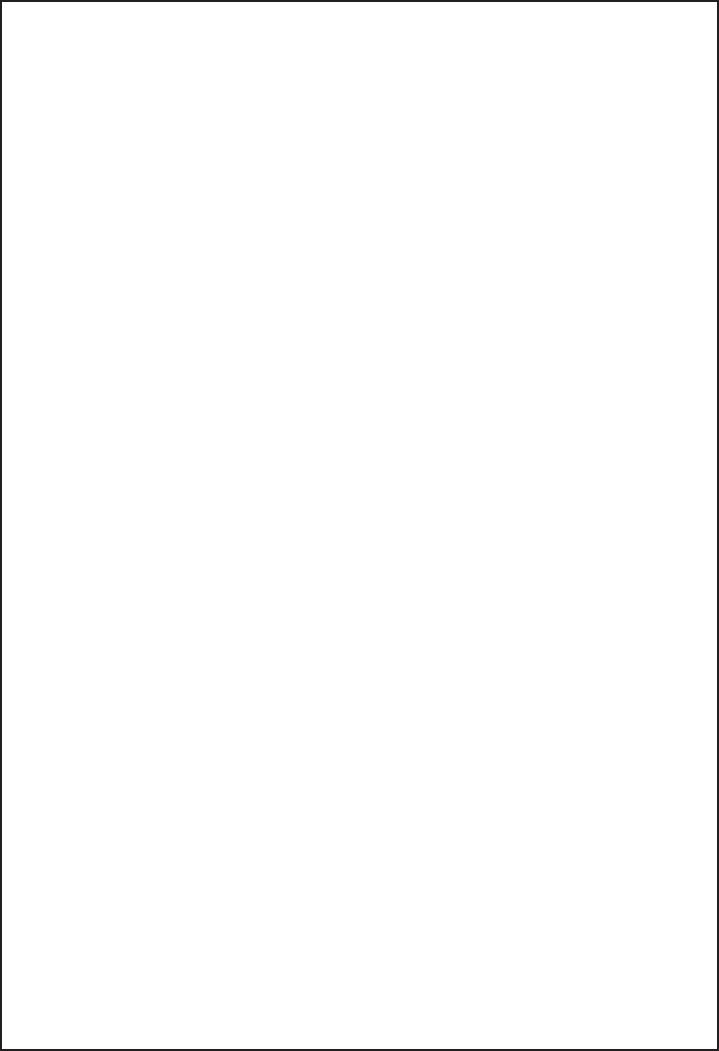
コンクリート二次製品用吊クランプ

SKC



取扱説明書

- この取扱説明書は、クランプの基本的なご使用方法および扱い方について説明しております。ご使用前によくお読み頂き、安全作業のため使用上の注意を守って正しくお使い下さい。



スーパークランプのご使用について

このたびはスーパークランプをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。スーパークランプは、コンクリート二次製品の運搬施工用として開発された省力吊具です。

正しいご使用のお願い

作業の安全と能率を高めるため、本書の取り扱い要領を充分にご理解頂いた上で、安全にご使用下さいますようお願い致します。

最高の能率と経済性

細かい点にまで配慮されたスーパークランプの持つ高度な機能と合理性および用途の広さは最高の能率と経済性を発揮します。

安全性には格別の配慮

特に安全面については、最大容量の3倍(または2倍)の荷重による引張試験など、十分な安全性を求めるとともに製品個々に製造番号を付記するなど、格別な配慮を致しております。

安全上のご注意

玉掛け用クランプをご使用になる前に、必ずお読みください。

玉掛け用クランプ（以下、クランプという）の使い方を誤ると、吊り荷の落下などの危険な状態になります。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくお使い下さい。

クランプを購入され使用される事業主はもとより、作業される方に「クレーン等安全規則」「玉掛け用クランプの作業マニュアル」「貴社の作業基準」などを教育し、作業される方が、クランプの知識・安全の情報・そして注意事項の全てについて習熟されたことを確認の上、作業に従事させて下さい。

この取扱説明書に使用する注意事項を下記「危険」「注意」の2つに区分しています。



危険

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物損的損害が想定される場合。

なお、**△注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容が記載されていますので、必ず守って下さい。

●記号の説明



△記号は、危険・注意を促す内容がある事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が記載されています。



禁止

記号は、禁止の行為であることを告げるものです。



指示

記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が記載されています。




（右図の場合は2点吊り）



2点吊り

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれるところに必ず保管して下さい。







1. 取り扱い全般について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none">●取扱説明書、および注意タグまたは注意銘板の内容を熟知しない人は使用しないで下さい。●法定資格のない人は、絶対にクレーン操作、玉掛け作業をしないで下さい。（クレーン等安全規則第221条・第222条）●吊り上げ運搬中や反転作業中には、吊り荷の落下、転倒範囲内に立ち入らないで下さい。（クレーン等安全規則第28条・第29条）●玉掛け作業以外には、使用しないで下さい。	 禁止
<ul style="list-style-type: none">●作業開始前の点検や定期点検を必ず実施して下さい。（クレーン等安全規則第217条・第220条）	 指示



2. 作業前の確認について





 危 険	
<ul style="list-style-type: none">●作業方法に適合しないクランプは、使用しないで下さい。●クランプの変形、亀裂、作動不良、摩耗など異常のあるものは使用しないで下さい。●吊り荷の条件が次の場合は、クランプを使用しないで下さい。（ぜい性材、高硬度材、および低硬度材や強度の著しく低い材料、つかみ部の勾配が抜け勝手に8°を超える部材）	 禁止
<ul style="list-style-type: none">●クランプ本体に表示された型式、最大容量、クランプ範囲、定期点検済表示を確認して下さい。●吊り荷の荷重が、使用するクランプの最大容量の許容範囲内であること。●吊り荷の板厚が、使用するクランプのクランプ範囲内であること。	 指示
 注 意	
<ul style="list-style-type: none">●環境の条件が次の場合は、クランプを使用しないで下さい。（吊り荷の温度が150℃以上の高温、および-20℃以下の低温、酸・アルカリ等の溶液中、および雰囲気中）	 禁止
<ul style="list-style-type: none">●クランプに使用するスリングは、玉掛け作業に適合したものを使用して下さい。	 指示

3. 使用方法と玉掛け作業について






 危 険	
<ul style="list-style-type: none">● 1点吊りで、クランプを使用しないで下さい。(専用品・特注品を除く)● クランプで、次のような吊り方は使用しないで下さい。(重ね吊り、当て物吊り、段吊り、共吊り、および横つかみ吊り)● クランプで、鋼矢板の引き抜き、およびそれらのタテ吊り作業をしないで下さい。● 強風時、危険が予想される場合は、クランプを使用しないで下さい。● 油圧ショベルでは、クランプを使用しないで下さい。 (玉掛け作業に適したフック等を装備した場合は、「労働安全衛生規則第164条」および「労働基準局通達基発 542号」によること。)	 禁止
<ul style="list-style-type: none">● クランプの取り付けは、2個以上のクランプでバランスを保つ位置に取り付け、吊り荷の安定を図るようにして下さい。	 2点吊り
<ul style="list-style-type: none">● クランプの吊り角度、および掛け幅角度は、型式にあった規定の角度以内であること。● クランプの開口部の奥まで、吊り荷を差し込んで下さい。● ロック装置付きのクランプを使用する場合は、必ずロックを掛けて使用して下さい。	 指示
 注 意	
<ul style="list-style-type: none">● 吊り荷のつかみ部に、油、塗料、スケール、サビ等の付着物がある場合は、使用しないで下さい。● クランプを投下したり、引きずったりしないで下さい。	 禁止

4. クレーンの操作について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none">● クランプの最大容量を超える吊り荷は、絶対に吊らないで下さい。● 吊り荷やクランプに、衝撃荷重が働くようなクレーン操作はしないで下さい。● クランプで吊った荷に、人は乗らないで下さい。また、人の乗る用途には、絶対に使用しないで下さい。● クランプで、地球吊りをしないで下さい。● 吊り荷を吊り上げ中に、クランプのロックを開放しないで下さい。● 吊り荷から取り外したクランプを、再度吊り荷に引っ掛けたり、隣接の部材に当てたりしないで下さい。	 禁止

<ul style="list-style-type: none"> ●クレーンで巻き上げる時、吊り環に荷重が掛かった時点で、一旦停止して、安全確認（差し込み深さ、ロック状態）をして下さい。 ●着地前に一旦停止して、次の事項を確認して下さい。（吊り荷の傾き、転倒、および着地場所とその周辺の安全確保） 	 指示
 注 意	
<ul style="list-style-type: none"> ●吊り荷を引きずるようなクレーン操作はしないで下さい。 ●クランプで吊り荷を吊ったまま、クレーン（巻き上げ機等）の運転位置から離れないで下さい。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●クレーンの巻き上げ・巻き下げは、静かに丁寧に行って下さい。 	 指示

5. 保守点検・保管・改造について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none"> ●クランプ、および付属品の改造は、絶対にしないで下さい。 ●クランプ、および付属品に溶接、加熱などをしないで下さい。 ●当社純正部品以外は、絶対に使用しないで下さい。 ●修理が必要なクランプは、別の場所に保管し、誤って使用されないようにして下さい。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●保守点検、修理は、事業者が定めた専門知識のある人が行って下さい。 ●保守点検で異常があった時は、そのまま使用せず、ただちに補修、または廃棄して下さい。 ●クランプの可動部、カム、パッド等にかみ込んだ塗料・汚泥等を除去して下さい。 	 指示
 注 意	
<ul style="list-style-type: none"> ●保守点検、修理をする時は、必ず空荷（吊り荷がない）の状態で行って下さい。 ●保守点検、修理をする時は、点検作業中の表示（「点検中」など）を必ず行って下さい。 ●クランプの回転部分（ピン回り）・ガイド溝等、摺動部に必ず注油して下さい。 ●クランプは必ず室内に保管して下さい。 	 指示

【ご 注 意】 分解・組み立てに伴う検査項目・点検基準は、取扱販売店、または当社営業所までご用命下さい。

コンクリート二次製品用吊クランプ

SKC

■用 途

プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝等コンクリート製品の吊り上げ運搬に最適な専用クランプです。

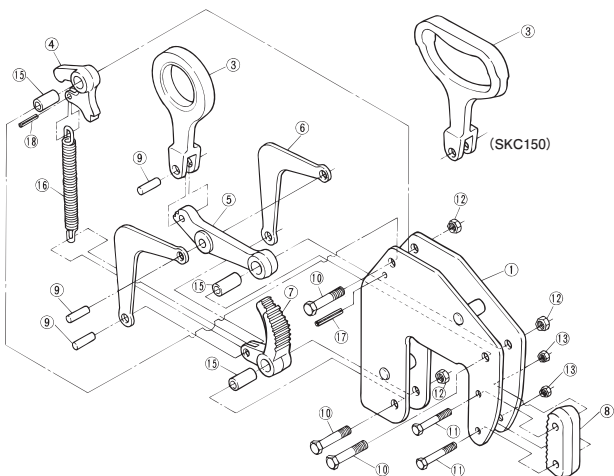
■特 長

1. 吊り上げ荷重に比例して締付力が増加し、強固にクランプします。
2. ばねによって常に一定の初期荷重が働きますから、着地してワイヤが緩んでもクランプは外れません。
3. 開放ロック機構付きですのでコンクリート製品への取り付け・取り外しが容易に行えます。
4. 主要部品は、特殊合金鋼の型鍛造品で、最適の熱処理が施されていますので、強靱で耐久性は抜群です。

■仕 様

品 番	タイプ	最大容量(kg)	クランプ範囲(mm)	質量(kg)
SKC150	ハンドタイプ	150	30~60	3.0
SKC150M	マシンタイプ	150	30~60	3.0
SKC250		250	50~80	3.0
SKC250W		250	70~100	3.5
SKC1250D		1250	73~137	10.0

■部品名称 (SKC150・SKC150M・SKC250・SKC250W)



番号	部品名称	部品記号	数量	番号	部品名称	部品記号	数量
	シャックル	SKH			リンク	SKL	
3	シャックル	SKCH	1	6	リンク	SKCL	2
9	連結ピン	SKCX	1	9	連結ピン	SKCX	1
	レバー	SKF			カム	SKT	
4	レバー	SKCF	1	7	カム	SKCT	1
10	六角ボルト (大)	SKCN	1	10	六角ボルト(大)	SKCN	1
12	六角ナット (大)		1	12	六角ナット(大)	SKCN	1
15	カラー	SKCY	1	15	カラー	SKCY	1
17	スプリングピン (大)	SKCQ	1		パッド	SKP	
	アーム	SKI		8	パッド	SKCP	1
5	アーム	SKCI	1	11	六角ボルト(小)	SKCV	2
9	連結ピン	SKCX	1	13	六角ナット(小)		2
10	六角ボルト(大)	SKCN	1		ばね	SKS	
12	六角ナット(大)	SKCY	1	16	ばね	SKCS	1
15	カラー		1	18	スプリングピン(小)	SKCR	1

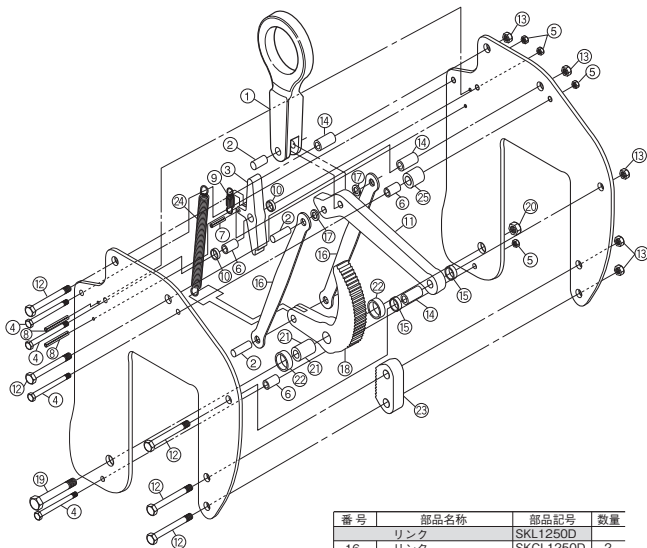
注:1) 部品注文の際には、部品記号の後に最大容量の数値または最大容量とMまたはWを併記して下さい。

(例:SKC150用のカムは、SKCT150とする)

(例:SKC250W用のパッドセットは、SKP250Wとする)

2) 各部品の摺動部には、定期的に注油を行って下さい。

■部品名称 (SKC1250D)



番号	部品名称	部品記号	数量
	シャックル	SKH1250D	
1	シャックル	SKCH1250D	1
2	連結ピン	SKCX1250D	1
	レバー	SKF1250D	
3	レバー	SKCF1250D	1
4	六角ボルト (小)	SKCN1250D	1
5	六角ナット (小)	SKCY1250D	1
6	カラー (小)	SKCY1250D	1
7	スプリングピン (短)	SKCQ1250D	1
8	スプリングピン (長)	SKCQ1250D	2
9	レバー用ばね	SKCB1250D	1
10	スパーサー (小)	SKCA1250D	2
	アーム	SKI1250D	
11	アーム	SKCI1250D	1
2	連結ピン	SKCX1250D	1
12	六角ボルト (中)	SKCV1250D	1
13	六角ナット (中)	SKCW1250D	1
14	カラー (中)	SKCW1250D	1
15	スパーサー (中)	SKCC1250D	2

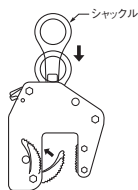
番号	部品名称	部品記号	数量
	リンク	SKL1250D	
16	リンク	SKCL1250D	2
2	連結ピン	SKCX1250D	1
17	平座金	SKCZ1250D	2
	カム	SKT1250D	
18	カム	SKCT1250D	1
19	六角ボルト (大)	SKCK1250D	1
20	六角ナット (大)	SKCD1250D	1
21	カラー (大)	SKCM1250D	1
22	スパーサー (大)	SKCD1250D	2
	パッド	SKP1250D	
23	パッド	SKCP1250D	1
12	六角ボルト (中)	SKCG1250D	2
13	六角ナット (中)	SKCG1250D	2
	カム用ばね	SKS1250D	
24	カム用ばね	SKCS1250D	1
4	六角ボルト (小)	SKCN1250D	1
5	六角ナット (小)	SKCY1250D	1
	ストッパー	SKE1250D	
25	ストッパー	SKCE1250D	1
4	六角ボルト (小)	SKCN1250D	1
5	六角ナット (小)	SKCY1250D	1
6	カラー (小)	SKCY1250D	1

注:各部品の摺動部には、定期的に注油を行って下さい。

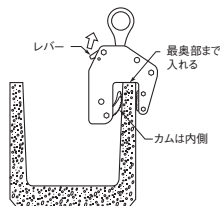
■取り扱いについて

1. 操作方法

- ① シャックルを右図矢印の方向に“カチッ”と音がするまで押し付けて下さい。
カムが本体内部に退きストッパーが掛かり開放ロック状態となります。(図1)
- ② クランプの取り付けは、コンクリート製品の端部がクランプ開口部の最奥部に当たるまで差し込んでからレバーをシャックル側に押しして下さい。開放ロックが外れカムが閉口しクランプします。(図2)
- ③ 取り外す場合は、①の手順で開放ロックを掛けてから取り外して下さい。



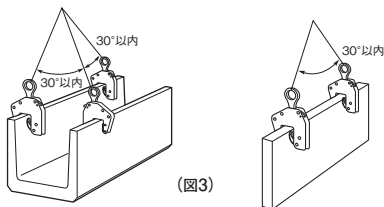
(図1)



(図2)

2. 吊り上げ作業方法

- ① 必ず2点吊り以上を厳守し、なるべく天秤吊りにて作業して下さい。なおそれぞれのワイヤロープ長さは必ず等分にして下さい。U型側溝を吊り上げる場合は、カムを溝の内側になるように取り付けて下さい。吊り上げ可能なU型側溝の主要寸法は(表1)を参照して下さい。また吊角度は(図3)の範囲内としバランスを考慮して取り付けして下さい。

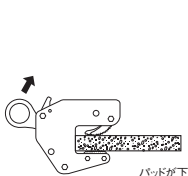


(図3)

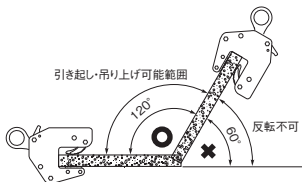
表1

呼び	a	c	d	f	ℓ	質量(kg)
150	150	150	30	35	600	24.7
180	180	180	35	40	600	33.8
240	240	240	45	50	600	55.9
300A	300	240	50	60	600	71.0
300B	300	300	50	60	600	80.4
300C	300	360	50	65	600	92.6
360A	360	300	50	65	600	90.6
360B	360	360	50	65	600	100.8

- ② 引き起し作業をする場合はパッドが下になるようにクランプして下さい。(図4)
 なお引き起し可能範囲は(図5)の範囲内として下さい。また反転作業は出来ません。



(図4)



(図5)

3. 部品の分解・組立方法

(1) 分解

イ. パッド

パッドを取り付けているボルト・ナットをレンチ等で緩めて本体よりパッドを取り外して下さい。

ロ. カム・その他

アーム・カムおよびレバーを止めているボルト・ナットをレンチ等で緩めて本体よりシャックル・アーム・リンク・カム・およびばねを取り出して下さい。(SKC1250Dの場合は、カム用ばねを止めているスプリングピンをピンポンチ等で本体より抜き取って下さい) 取り出した各部品は連結ピンを抜き取れば分解出来ます。

ハ. レバー

レバーを止めているボルト・ナットをレンチ等で緩めて本体よりレバーを取り外して下さい。(SKC1250Dの場合は、レバー用ばねを止めているスプリングピンをピンポンチ等で本体より抜き取って下さい)

(2) 組立

分解の場合と逆の手順で作業を行って下さい。

⚠ 注意

- ◆ 最大容量以内で使用して下さい。
- ◆ クランプ範囲内で使用して下さい。
- ◆ コンクリート製品以外の吊り荷には使用しないで下さい。
- ◆ 吊り荷やクランプに衝撃を与えないで下さい。
- ◆ コンクリート製品の重ね吊りは出来ません。
- ◆ 使用前には必ずカム・パッドの歯の目詰まりや摩耗状態および、その他各部に異常がないか確認、点検を行って下さい。
- ◆ 改造しないで下さい。加熱・加工などをした場合は著しく品質(強度)の低下を招きます。
- ◆ 養生中のコンクリート製品には使用出来ません。
- ◆ 地中に埋まっているコンクリート製品の吊り上げ・引き抜きには使用出来ません。
- ◆ カム・パッドおよびコンクリート製品に水・油・砂等が付着していますと滑り落ちる恐れがありますので必ず付着物は取り除いてから吊り上げて下さい。
- ◆ 吊り荷は必ず開口部の最奥部まで入れてからクランプして下さい。
- ◆ 1本のワイヤの両端にクランプを取り付けたり、1本のワイヤで絞り吊りは出来ません。
- ◆ コンクリート製品を横つかみでの吊り上げは出来ません。(図6)



その他

補修部品・修理のお問い合わせについて

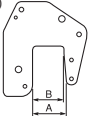
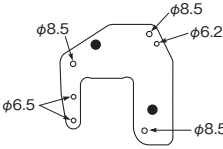
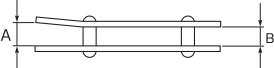
補修部品・修理を必要とされる場合は、本クランプの使用を中止し、その旨、裏表紙の(株)スーパーツールの各支店・営業所迄ご連絡下さい。

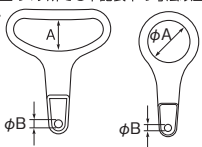

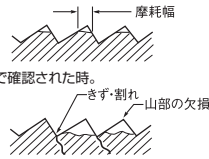
日常点検

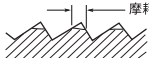
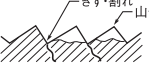
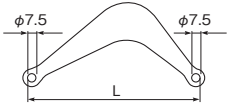
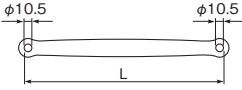
作業の安全と能率低下を防ぐためにも日常の点検と手入れを実施して下さい。

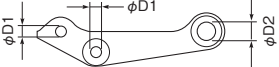
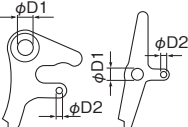
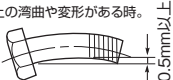
1. 本体やカム・パッド・シャックル各部にきずおよび割れなどの破損がないか。
2. ボルト・ナットやピン類の取り付け状態はよいか。
3. 各部の作動および注油の状態はよいか。
4. カム・パッドの歯先の摩耗や欠損の有無、および歯の目詰りがいいか。
5. その他点検基準を参照下さい。

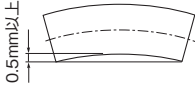
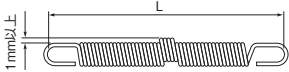
点検基準

項目	点検方法	使用限界	処置
本 体	<ul style="list-style-type: none"> ●きず・割れがないか。 (目視またはカラーチェック) ●開口部が開いていないか。 (測定具) ●ボルト穴の摩耗や変形がないか。 (測定具) ●各部に変形やガタがないか。 (目視または測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●目視などで確認された時。 ●AとBとの差が奥行100mmに対して2.5mm以上ある時。(2.5%)  ●穴径が円周上の1ヶ所でも下記の寸法以上になった時。  SKC150・150M・250・250W ●AとBの差が2mm以上ある時。  SKC1250D (単位:mm) 	廃 却

項目	点検方法	使用限界	処置																							
シャックル	<ul style="list-style-type: none"> ●きず・割れがないか。 (目視またはカラーチェック) ●吊環部内径・ピン穴の摩耗や変形がないか。 (測定具) ●曲りがないか。 (目視または測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●目視などで確認された時。 ●穴径が円周上の1ヶ所でも下記表中の寸法以上になった時。  <table border="1" data-bbox="450 482 870 586"> <thead> <tr> <th>品番</th> <th>150</th> <th>150M</th> <th>250 250W</th> <th>1250D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A (mm)</td> <td>35.0</td> <td>51.5</td> <td>51.5</td> <td>71.0</td> </tr> <tr> <td>B (mm)</td> <td>7.5</td> <td>7.5</td> <td>7.5</td> <td>10.5</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●クランプ本体の中心線に対して5°以上の永久歪がある時。またA寸法が下記表中の寸法以上になった時。  <table border="1" data-bbox="450 749 870 808"> <thead> <tr> <th>最大容量 (kg)</th> <th>150</th> <th>250</th> <th>1250</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A (mm)</td> <td>10.5</td> <td>10.5</td> <td>13.0</td> </tr> </tbody> </table>	品番	150	150M	250 250W	1250D	A (mm)	35.0	51.5	51.5	71.0	B (mm)	7.5	7.5	7.5	10.5	最大容量 (kg)	150	250	1250	A (mm)	10.5	10.5	13.0	取替
	品番	150	150M	250 250W	1250D																					
A (mm)	35.0	51.5	51.5	71.0																						
B (mm)	7.5	7.5	7.5	10.5																						
最大容量 (kg)	150	250	1250																							
A (mm)	10.5	10.5	13.0																							
カ ム	<ul style="list-style-type: none"> ●先端部の摩耗程度はどうか。 (目視または測定具) ●歯山の欠損や歯底にきず・割れがないか。 (目視またはカラーチェック) ●ボルト穴・ピン穴の摩耗や変形がないか。 (測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●摩耗幅が0.5mm以上ある時。 ●目視などで確認された時。 ●穴径が円周上の1ヶ所でも下記表中の寸法以上になった時。  <table border="1" data-bbox="455 1261 865 1357"> <thead> <tr> <th>最大容量 (kg)</th> <th>150</th> <th>250</th> <th>1250</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D1 (mm)</td> <td>12.6</td> <td>12.6</td> <td>22.5</td> </tr> <tr> <td>D2 (mm)</td> <td>7.5</td> <td>7.5</td> <td>10.5</td> </tr> </tbody> </table>	最大容量 (kg)	150	250	1250	D1 (mm)	12.6	12.6	22.5	D2 (mm)	7.5	7.5	10.5	取替											
最大容量 (kg)	150	250	1250																							
D1 (mm)	12.6	12.6	22.5																							
D2 (mm)	7.5	7.5	10.5																							

項目	点検方法	使用限界	処置								
パッド	<ul style="list-style-type: none"> ●先端部の摩耗程度はどうか。(目視または測定具) ●歯山の欠損や歯底にきず・割れがないか。(目視またはカラーチェック) 	<ul style="list-style-type: none"> ●摩耗幅が0.5mm以上ある時。  <ul style="list-style-type: none"> ●目視などで確認された時。 	取替								
リンク	<ul style="list-style-type: none"> ●変形がないか。(目視または測定具) ●ピン穴の摩耗や変形がないか。(測定具) ●開放ロックが掛かるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●異常音を発したり引っ掛かりを生じた時。 ●リンク穴ピッチ(L)が下記表中の寸法以上になった時。 ●穴径が円周上の1ヶ所でも下記寸法以上になった時。  <p style="text-align: center;">SKC150・150M・250・250W</p>  <p style="text-align: center;">SKC1250D</p> <table border="1" data-bbox="445 986 844 1053"> <thead> <tr> <th>最大容量 (kg)</th> <th>150</th> <th>250</th> <th>1250</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L</td> <td>144</td> <td>146</td> <td>258</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●開放ロックが掛からない時。 	最大容量 (kg)	150	250	1250	L	144	146	258	取替
最大容量 (kg)	150	250	1250								
L	144	146	258								

項目	点検方法	使用限界	処置																
アーム	<ul style="list-style-type: none"> ●ピン穴の摩耗や変形がないか。(測定具) ●爪先の摩耗や変形がないか。(目視) 	<ul style="list-style-type: none"> ●穴径が円周上の1ヶ所でも下記表中の寸法以上になった時。  <table border="1"> <thead> <tr> <th>最大容量 (kg)</th> <th>150</th> <th>250</th> <th>1250</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D1 (mm)</td> <td>7.5</td> <td>7.5</td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>D2 (mm)</td> <td>12.6</td> <td>12.6</td> <td>18.6</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●爪先が摩耗または変形して開放ロックが掛からない時。 	最大容量 (kg)	150	250	1250	D1 (mm)	7.5	7.5	10.5	D2 (mm)	12.6	12.6	18.6	取替				
最大容量 (kg)	150	250	1250																
D1 (mm)	7.5	7.5	10.5																
D2 (mm)	12.6	12.6	18.6																
レバー	<ul style="list-style-type: none"> ●ピン穴の摩耗や変形がないか。(測定具) ●爪先の摩耗や変形がないか。(目視) 	<ul style="list-style-type: none"> ●穴径が円周上の1ヶ所でも下記表中の寸法以上になった時。  <p>SKC150-150M-250-250W SKC1250D</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>最大容量 (kg)</th> <th>150</th> <th>250</th> <th>1250</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D1 (mm)</td> <td>12.6</td> <td>12.6</td> <td>12.6</td> </tr> <tr> <td>D2 (mm)</td> <td>4.2</td> <td>4.2</td> <td>6.2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●爪先が摩耗または変形して開放ロックが掛からない時。 	最大容量 (kg)	150	250	1250	D1 (mm)	12.6	12.6	12.6	D2 (mm)	4.2	4.2	6.2	取替				
最大容量 (kg)	150	250	1250																
D1 (mm)	12.6	12.6	12.6																
D2 (mm)	4.2	4.2	6.2																
六角ボルト・ナット	<ul style="list-style-type: none"> ●ボルト軸部の摩耗がないか。(測定具) ●きず・割れがないか。(目視またはカラーチェック) ●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ナットの取り付け状態はよいか。(目視) 	<ul style="list-style-type: none"> ●軸部直径が円周上の1ヶ所でも下記表中の寸法以下になった時。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>最大容量 (kg)</th> <th>150</th> <th>250</th> <th>1250</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>六角ボルト (小)</td> <td>5.5</td> <td>5.5</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>六角ボルト (中)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>六角ボルト (大)</td> <td>7.5</td> <td>7.5</td> <td>15.5</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●目視などで確認された時。 ●0.5mm以上の湾曲や変形がある時。  <ul style="list-style-type: none"> ●破損、緩み、外れている時。 	最大容量 (kg)	150	250	1250	六角ボルト (小)	5.5	5.5	7.5	六角ボルト (中)	—	—	11.5	六角ボルト (大)	7.5	7.5	15.5	取替
最大容量 (kg)	150	250	1250																
六角ボルト (小)	5.5	5.5	7.5																
六角ボルト (中)	—	—	11.5																
六角ボルト (大)	7.5	7.5	15.5																

項目	点検方法	使用限界	処置										
連結ピン	<ul style="list-style-type: none"> ●軸部の摩耗がないか。(測定具) ●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●軸部直径が円周上の1ヶ所でも下記表中の寸法以下になった時。 <table border="1"> <tr> <td>最大容量 (kg)</td> <td>150</td> <td>250</td> <td>1250</td> </tr> <tr> <td>直径 (mm)</td> <td>6.5</td> <td>6.5</td> <td>9.5</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●0.5mm以上の湾曲や変形がある時。 	最大容量 (kg)	150	250	1250	直径 (mm)	6.5	6.5	9.5	取替		
最大容量 (kg)	150	250	1250										
直径 (mm)	6.5	6.5	9.5										
カム用ばねレバー用ばね(1250Dのみ)	<ul style="list-style-type: none"> ●カムを最大開口状態で押した時、適当な反発力があるか。 ●変形や伸びがないか。(測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●正常な反発力がなくカムの動きが悪くなった時。 ●1mm以上の変形や全長が下記表中の寸法以上になった時。  <table border="1"> <tr> <td>最大容量 (kg)</td> <td>150</td> <td>250</td> <td>1250 (カム用)</td> <td>1250 (レバー用)</td> </tr> <tr> <td>L (mm)</td> <td>93</td> <td>93</td> <td>154</td> <td>39</td> </tr> </table>	最大容量 (kg)	150	250	1250 (カム用)	1250 (レバー用)	L (mm)	93	93	154	39	取替
最大容量 (kg)	150	250	1250 (カム用)	1250 (レバー用)									
L (mm)	93	93	154	39									

スーパークランプ(SKC) 定期自主点検記録

品番: _____ 最大容量: _____ 製造番号: _____ 使用開始日: 年 月 日

点検要領は前頁の点検基準を参考に行ってください。

点検年月日	点 検 部 品 名 称									総合判定(○・×)	点検者印
	本体	カム	パッド	シャックル	リンク	レバー	アーム	六角ボルトナット	連結ピン		
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											
年 月 日											

- 点検の頻度は各事業所で独自に日時を決めて定期的に行ってください。
- 上記表中の各部件の点検の結果、右表の該当する点検内容の記号を書込んで下さい。
- 点検の結果、各部件に1つでも×の項目があった場合、総合判定は×として下さい。その場合、クランプの使用は出来ません。(×の項目を修理してから再度点検を行い総合判定で○となった後、使用を再開して下さい)

記号	点検内容
✓	点検して異常なし
T	締付整備をして異常なし
L	注油をして異常なし
C	清掃をして異常なし
○	部品を交換して異常なし
×	使用限界を超えている

株式会社 **スパーツール**
<https://www.supertool.co.jp/>



- | | | | | | |
|--------------------------|-------|-----------|---------------------------------|---------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> | 本社・工場 | 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地 | TEL.072-236-5521(代) | FAX.072-236-5785 |
| <input type="checkbox"/> | 大阪支店 | 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地 | TEL.072-236-5526(代) | FAX.072-236-3817 |
| <input type="checkbox"/> | 東京支店 | 〒142-0041 | 東京都品川区戸越3丁目4-18
ゴールドステージビル4F | TEL.03-5750-2341(代) | FAX.03-5750-2347 |
| <input type="checkbox"/> | 名古屋支店 | 〒460-0026 | 名古屋市中区伊勢山1丁目2-4 | TEL.052-323-0701(代) | FAX.052-323-0720 |
| <input type="checkbox"/> | 札幌 | 〒003-0029 | 札幌市白石区平和通3丁目北4-20 | TEL.011-864-3581 | FAX.011-864-3590 |
| <input type="checkbox"/> | 仙台 | 〒984-0831 | 仙台市若林区沖野2丁目8-5 | TEL.022-294-1922 | FAX.022-285-1513 |
| <input type="checkbox"/> | 北 関 | 〒337-0004 | さいたま市見沼区卸町2丁目6-9 | TEL.048-682-5000 | FAX.048-682-5059 |
| <input type="checkbox"/> | 広島 | 〒733-0012 | 広島市西区中広町2-14-27 | TEL.082-293-5570 | FAX.082-293-5531 |
| <input type="checkbox"/> | 福岡 | 〒812-0016 | 福岡市博多区博多駅南3-10-23 | TEL.092-431-1897 | FAX.092-431-1909 |